

## <実践報告>

共に生きる地域を支える哲学的な学びの基盤づくり

アート/デザイン志向の教科「福祉」による  
カリキュラム編成 と 教科指導

神戸市立六甲アイランド高等学校  
福祉科 教科主任 教諭 吉田 高子

# 神戸市立六甲アイランド高等学校の概要

1995年に発生した阪神淡路大震災で倒壊した2校を統合・再編し、人工島・六甲アイランドに新たな校舎を再建。日本のボランティア元年となった大震災の記憶を継いで未来を築く「国際福祉都市宣言」をした神戸市の復興への希望のシンボルとして創立。今年度、22期目の新入生を迎えた。

- 全校生徒数 1,200名（40名×10クラス・3学年）
- 教育課程 普通科単位制
  - 1年目 一般的な普通科と同様の教育課程（必履修主体）
  - 2年目以降
    - 生徒の興味・関心に応じた「系」に所属
    - ※2・3年生間でのコース変更は不可
    - 卒業要件となる必履修＋選択科目の履修
- 系の種別 「学びの柱」として設置 計9種（7系2コース）

# 学習指導要領における教科「福祉」の概要

## ■教科「福祉」創設の経緯

- 平成9年5月 理科教育及び産業教育審議会 諮問  
「今後の専門高校における教育の在り方等について」
- 平成10年7月 答申 新教科「福祉」の創設
- 平成11年3月29日（1999年）※平成15年度（2003年度）より実施  
高等学校学習指導要領の全面的改訂に伴い新設

## ■教科創設の目的

- (1) 国民的教養としての福祉（国民の福祉に対する意識の形成）
- (2) 進路選択の一つとしての福祉（キャリア教育の一環）
- (3) 福祉人材の養成としての福祉

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開①

## ■教科「福祉」を人間科学系生活福祉コースで展開

- 学びの柱「系（コース）」における中核となる教科
- 教養としての教科「福祉」を展開 ※介護福祉士養成の実施なし  
福祉文化と理念への理解と福祉マインドの涵養、キャリア形成
- 卒業後の進路 ※大多数が4年制大学へ進学
  - ・ 対人援助専門職：社会福祉士・精神保健福祉士・心理職・看護師  
保育士・幼児教育・初中等教育・特別支援教育  
弁護士・管理栄養士・理学/作業療法士・介護士
  - ・ その他の学部への進学（社会学部・文学部・外国語学部・経営学部他）

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開②

## ■科目設置状況（教科「福祉」開講科目） ※科目名対照表

### 校内・科目名（設置学年）

社会福祉基礎（2～6単位） 2・3年次

介護福祉基礎（2単位） 2年次

コミュニケーション技術論（2単位） 3年次

コミュニケーション技術演習（2単位） 3年次

社会福祉研究（2単位） 3年

社会福祉実践（2単位） 2年

### 学習指導要領・科目名

社会福祉基礎

介護福祉基礎

コミュニケーション技術

コミュニケーション技術

介護総合演習

介護実習

# 人間科学系生活福祉コースの教育課程（一部抜粋）

## 教科「福祉」の授業展開

- 教養としての教科「福祉」を展開 ※介護福祉士養成の実施なし  
福祉文化と理念への理解と福祉マインドの涵養、キャリア形成
- 学びの柱「系（コース）」における中核となる教科

<2年次>

系指定	系選択	系選択	自由選択
社会福祉 基礎1  ※必履修	社会福祉 基礎2  ※3科目の 中から1つ	介護福祉 基礎  ※3科目の 中から1つ	社会福祉 実践

<3年次>

系指定	系選択	系選択	系選択
コミュニ ケーション技術論  ※必履修	社会福祉 基礎3  ※2科目の 中から1つ	社会福祉 研究  ※3科目の 中から1つ	コミュニ ケーション技術 演習

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開③

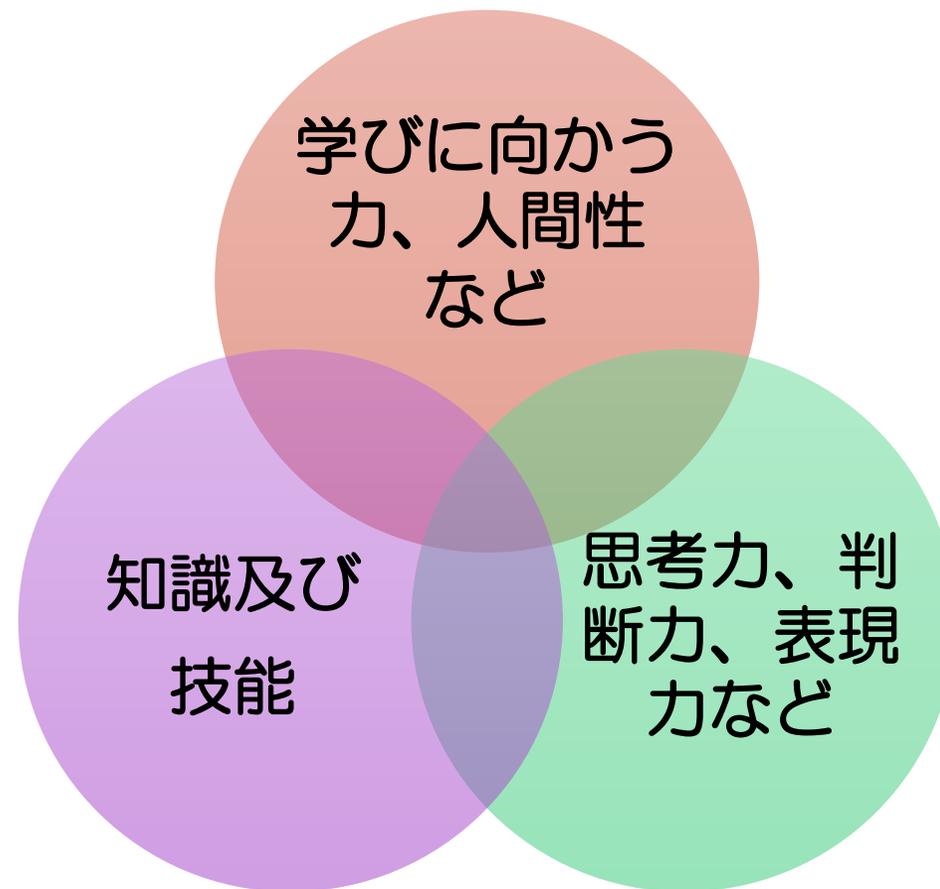
## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■ 学習指導要領

「どのように学ぶか」

- (1) 主体的な学びの視点
- (2) 対話的な学びの視点
- (3) 深い学びの視点

育む資質・能力を、総合的に  
バランス良く育てていく



# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開④-1

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■G7教育相会合「倉敷宣言」 (2016年5月開催)

教育によって、基本的な価値観である  
生命の尊重、自由、民主主義、寛容、法の支配、  
人権の尊重などを促進するとともに、  
シチズンシップ（市民精神）を育成する  
ことは極めて重要

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑤-1

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

- 社会人基礎力（経済産業省）
- 人間力（文部科学省）
- **国際バカロレア（IB）**が目指す人間像

Think locally,  
Act globally !

- 1) 国際的な視野を持つ人間
- 2) **人類**に共通する人間らしさと**地球**を共に守る責任を認識している
- 3) より良い、より平和な**世界**を築くことに貢献する人間

### 〈学習者像〉 **12の指標**

- ・ **探究**する人 ・ **知識**のある人 ・ **考える**人 ・ **信念**をもつ人
- ・ **コミュニケーション**ができる人 ・ **心を開く**人 ・ **思いやり**のある人
- ・ **挑戦**する人 ・ **バランス**のとれた人 ・ **ふりかえり**ができる人

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑤-2

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■ OECD 2030 教育の羅針盤 「**生きのびる力**」

- 1) 新たな価値を**創りだす力**
- 2) 責任を取る力
- 3) 緊張関係やジレンマを**調整する力**

AI(人工知能)にできない  
こと (例) **善・美**

### ■ STE**A**M教育

“「A」は未来を**描く力**”、

“世界を見る新しい視点を**生み出す**” (数学研究者・中島さち子氏)

“「A」とは Arts やリベラルアートで、

**幸福な人間社会を作る道具**” (経済産業省 浅野大介 教育産業室長)

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑤-3

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■ STEAM教育

〈本校での学びの指標・内容〉

- Science (科学) → 真理の究明、客観的分析、批判的思考力
- Technology (技術) → 「技」(わざ)と「術」(すべ)の習得
- Engineering (工学) → しくみづくり、構築する力
- Art(s) (芸術) → 描く・デザインする力、豊かな感性
- Mathematics (数学) → 統計を解析・読み解く力、比較検討力

プロジェクト型学習の3つのポイント (数学研究者・中島さち子氏)

- (1) 実践的な学び
- (2) 横断的な学び
- (3) 多様性のある学び

“学びの価値は、競争ではなく創ること”

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑥-1

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■教養としての教科「福祉」がアプローチする対象

3つのライフ（Life：広義「いのち」）

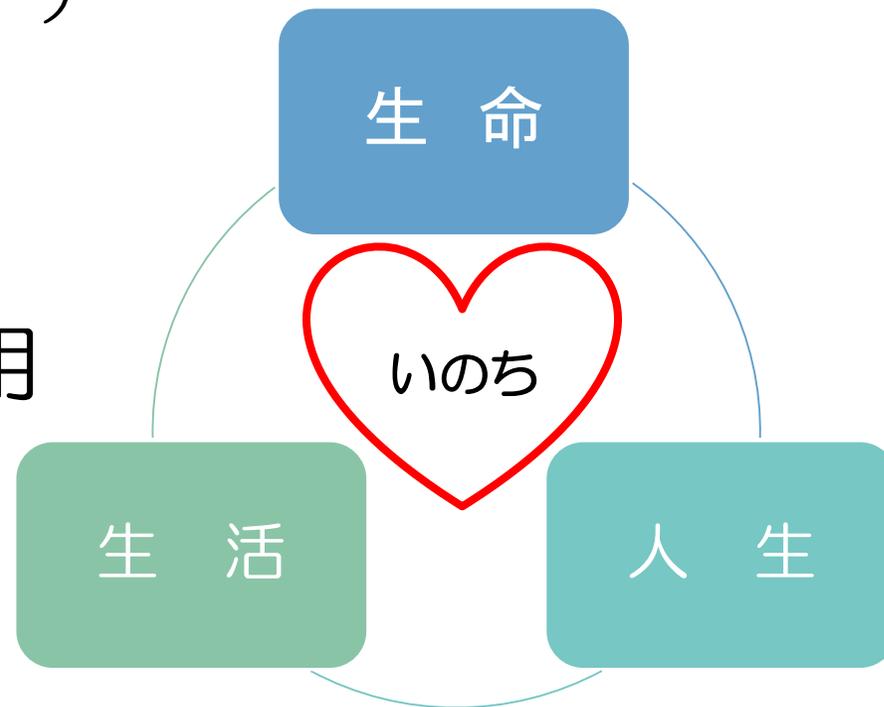
- 生命：生物学的いのち
- 生活：物理的な日常の営み
- 人生：社会的ないのち

### ■臨床としての医学からの知見の援用

“医学はサイエンスに支えられた  
アートである”（医師 W. オスラー博士）

↓ アート ≠ 一般の芸術の意

同様に「いのち」の臨床を扱う学問  
である社会福祉学もアートと言えよう。



Art of Life/Living

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑥-2

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■ Art of Life/Living (いのちの営み)

= 教養としての教科「福祉」による学びの射程

= STEAM教育の「A」としての教科「福祉」

教科「福祉」を通じて「真」、「善」と「美」を学ぶ

AIにはできない

3つのライフ (いのち) に必然的に備わる疑問・課題

↓  
答えがない・答えが一つではない

↓  
哲学・倫理学・社会学・論理学領域での  
思索・探究・究明が自ずと必要になる。

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑦

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■ 人間の安全保障

国際協力機構（JICA）北岡 伸一 理事長

“すべての人間には「恐怖」や「欠乏」から自由になり、**尊厳**を持って**生きる権利**があり、当該国政府や国際社会は、それを**支援する義務**を負うという概念”（2019年10月7日付・読売新聞）

### ■ 持続可能な開発目標（SDGs）



学び・活動の方向を指し示す  
羅針盤的機能

「何を」・「なぜ」・「どのように」

実践例）演習「課題の発見」

「不」の付く漢字・語をあげる



# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑧

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

### ■ ノーマライゼーション

### ■ ユニバーサル・デザイン

(※) universal の語義の広さ → 単なる物品・建築物だけにとどまらない。

- 例) ・一人ひとりの存在そのものが唯一無二の作品 = **アートの視点**
- ・人びとの人生・生活設計 (**デザイン**) に携わる。
- ・まちや地域、社会と世界のより望ましいあり方を考え**創造する**。

“福祉 (ふくし)” とは？

例) 中学校でのイメージ (狭義の福祉観) の問い直し ⇒ **みんなの「ふくし」**

例) 福祉の職業観の転換・とらえ直し 「たいへんな仕事」

⇒ 「**クリエイティブ** な仕事」 “**デザイナー**” “**アーティスト**”

# 六甲アイランド高校における教科「福祉」の展開⑨

## 教育課程編成におけるビジョン・教科運営上の理念

■ 「福祉」の語義・・・幸福、しあわせ、幸い （広辞苑・第6版）

■ 日本国憲法 ※わが国の最高法規の中に見られる「福祉」の意味するところ

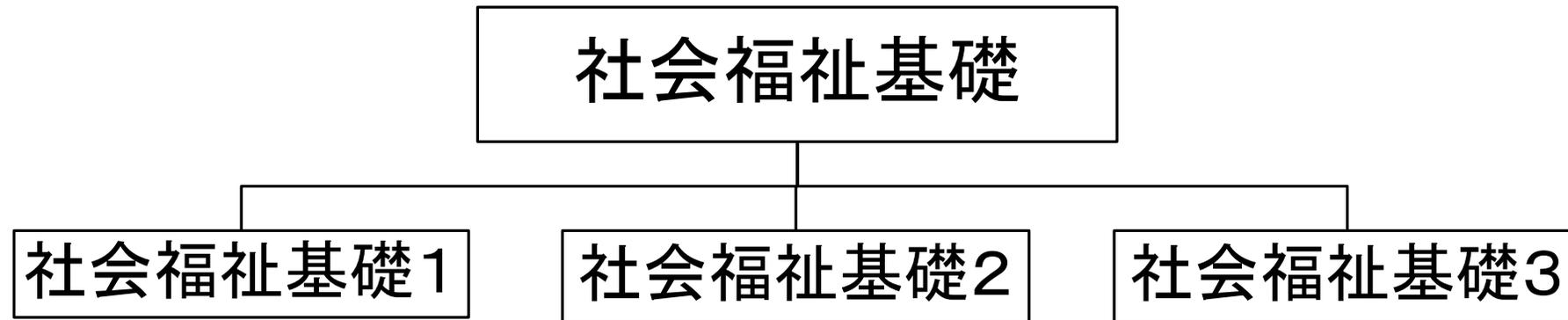
第13条 すべて国民は、**個人として尊重**される。生命、自由及び**幸福追求**に対する国民の権利については、**公共の福祉**に反しない限り、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする。

判断の基準・根拠

第25条 すべて国民は、健康で文化的な**最低限度の生活**を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、**社会福祉**、**社会保障**及び公衆衛生の**向上及び増進に努めなければならない**。

# 教養としての教科「福祉」の展開

## 科目の概要①-1 「社会福祉基礎」 (6単位)



社会福祉 = 社会 + 福祉 ⇒ 「社会」との連関への意識が必要

※社会の様々な事象・動向に視野をおく学際的な授業展開が必要

※他教科との横断的な展開・総合的な学習の時間との連携

# 教養としての教科「福祉」の展開

## 科目の概要①-2 「社会福祉基礎」 (6単位)

- 社会福祉基礎 1 (2単位/2年次配当) 系指定科目 <過去を知る>  
現在の日本社会がどの様にして形成されたのか。社会福祉の歴史から成り立ちを理解する。
  - ・ 社会福祉の歴史 (世界史 - イギリス・北欧・ドイツ・北米 / 日本史)
  - ・ 地理 (白地図にふれた国・地域に足跡を残す)
- 社会福祉基礎 2 (2単位/2年次配当) 系選択科目 <現代をみる>  
今日のわが国の社会福祉の法制度としくみの現状を検討する。
- 社会福祉基礎 3 (2単位/3年次配当) 系選択科目 <未来を描く>  
今日の先端科学技術・生命倫理・政策や法制度等から、人間の安全保障に軸足をおいた持続可能な未来社会の構築を探究・考察する。

# 教養としての教科「福祉」の展開

## 科目の概要② 「介護福祉基礎」 (2単位)

### ■ 介護福祉基礎 (2単位/2年次配当) 系選択科目 **意識のバリアフリー**

- サポートが必要な他者のために、**だれもが「教養」として備えておく**べき適切な心身の介助・支援方法に関する知識と技能の習得を目指す。
- 高齢、障がいに対する**認識・発想を転換**し、年齢・世代、立場・状況の違いに理解を深め、援助・支援を「**する**」「**される**」という**固定の役割・位置づけにとらわれない「相互の関係性（お互いさま）」**に気づき、**自己の当事者性への感覚・意識**の醸成を促す。
- 人間にとって、衣食住・社会の取り巻く「**環境のあり方**」の重要性を理解し、感性を磨く。

# 教養としての教科「福祉」の展開

## 科目の概要③ 「コミュニケーション技術論」 (2単位)

### ■ コミュニケーション技術論 (2単位/3年次配当) 系指定科目

- 良好な関係性の構築において最も重要な「**信頼 (ラポール)**」の形成に必要な「コミュニケーション」に関する知識と技能の習得を目指す。
- **言語活動と位置づけ**、「ことば」の重要性・「伝える」「伝わる」こと・手話言語や機器を用いた**多様な伝達手段**について理解を深め、意思伝達の様相の奥深さを吟味する。
- 心理学・社会学・医学・工学・倫理学の知見により、**人間の多様性**に対する理解を深め、洞察力を高める。さらには、人間を取り巻く人的・物理的・社会的**環境との相互作用**にも着目し、人間の存在と尊厳について深く思索する機会とする。(人間科学系である所以)

# 教養としての教科「福祉」の展開

## 科目の概要④ 「社会福祉研究」 (2単位)

- 社会福祉研究 (2単位/3年次配当) 系選択科目 **試行錯誤と想像・創造**
- **探究科目**としての位置づけ。一年間で下記の3つの設題に取り組む。
  - 1) **調査・研究の手法を学ぶ**事例検討
  - 2) 提示された**社会課題**に対する**解決法を模索**し提示
  - 3) **卒業研究**として、調査・研究を通して、自らの興味・関心のある社会課題への**解決策の提言**や**プロジェクトの提案**を行う。
- 他教科も含め、習得した**知識や体験**から会得したこと**すべてを動員**して、客観性や根拠に基づいた調査研究活動を**主体的**に進める。
- 卒業後の進学や社会での活動との**接続を意識**した「**学び方**」を学ぶための科目としての位置づけ。※**エビデンス・倫理**への意識と涵養

# 教養としての教科「福祉」の展開

## 総合的な学習の時間

## 地域学「神戸学」 (特別活動)

### ■ 探究学習 (2年次後期～3年次前期 1年間の活動)

- 所属する「系」内でのグループによる探究活動。
- 課題解決あるいはプロジェクト型の学習活動を行う。
- 神戸に関する調査研究を行い、所属系内で中間発表を実施。その後、系代表により全学で代表グループによる発表大会を実施。さらに、
- SSHでの課題発表大会 (ポスター発表) に臨む。

### ■ 教科「福祉」との連関性 ※シビック・プライドを育む

- 神戸学の土台となるのが、個々の生徒の教科「福祉」での学びであり、教科「福祉」でのチームによる学びの発展形と認められる。
- 教科「福祉」の学びと相まって、サービス・ラーニングに至る取組み多数。

# 地域との連携・協働による新しい高等学校づくり

## 教育活動推進体制の要となる 教員体制

「学校」と「地域」間を取り持つ人材

双方に“**キーパーソン**”が必要

<学校側> **教科「福祉」教諭**

教員免許 **+** **国家資格等の保持者** 多数

- 社会福祉士 地域との連携・協働活動
- 精神保健福祉士 ⇒ 大学教育課程の中で**履修**
- スクールソーシャルワーカー等 「**地域福祉論**」「**コミュニティ**」

地域が  
抱える課題、  
住民や諸団体と

**親和性**が  
高い

活躍が期待できる

**学校（校内）⇔ 地域（校外）**